

軍極秘

昭和十七年五月三十一日

佐世保鎮守府第八特別陸戦隊司令

Y六作戰ニ関スル覺書

一、七月一五。右翼隊ハ竜門ニ主力ハ竜塘ニ左翼隊又主力ハ
部ハ大同ニ集結セヨ。令テコレテ所定ノ行定ヲ起ス集
結當日ノ夕令ハ各隊所属ノ主計隊ニテ準備ス

二、第一次作戰ニ即應ジ得ル如ク各集結地方面ニテ竜塘一七。
名、竜門九名、大同一ニ。名ノ支那人夫微備集結セシメテ
ハシ第二次作戰以後ハ屯昌(大同)方面ヲ支那人夫三八名
ヲ微備ス

尚入夫ハ各自銃、鎌、鋏ヲ携行セシムト共ニ各隊使用別ニ
本部主計隊ニテ準備セルマシクテ腕ニ附スコトトス

0632

76

- 三、進撃時支那人夫ヲシテ荷物ノ運搬ヲ必要トスル時ハ三人ヲテ一個運搬ノ程度ニ荷造ヲナスモノトス
- 四、皇軍駐屯地以外ノ宿營地ニハ荷物ヲ残サズ全部携行シ、戰鬪ニ從事スルヲ以テ荷造ニ関シテハ豫メ研究工夫シオクヲ要ス
- 五、占領徵奪物件ハ各部隊長取纏メ一應大指長(主計隊長)ニ届出スベシ
- 六、設営隊員並ニ特務調査隊員用ノ水筒、飯盒ハ嘉積本部ヲ貸與スルコトトス
- 七、部隊嘉積集結ニ當リテハ極力我ノ行動ヲ秘スルニ努ムルヲ要ス又首尾隊ハ使用支那人ノ行動監視ヲ怠心ラサルヲ要ス
- 八、敵地ニ在リテハ漫リニ井戸水ヲ飲ムバカラス毒物ヲ採シアルコトアリ必ず部隊長ノ指示ニ從フベシ
- 九、本作戰中ノ問語答語及味方識別ヲ左ノ如ク定ム確實ニ

0633

部下 徹底セシメ置クハシ

「答語」

「廣瀬」

味方識別

軍艦旗（流）又ハ國旗ニ流ヲ連揚

「携行物件」

（一）本部ヨリハ中隊ニテ携行スルモノ

（二）ヨリ対空標識トシテ

布帆信號三（本部）
大軍艦旗一（國旗）二（本部）
大軍艦旗一（中隊）

（三）防彈板（各中隊ニテ）射撃戒兵用

（四）毛布各自ニ一枚（進撃時ハ一枚ハ屯昌ニ残ス）

（五）蚊帳（適宜）

（六）雨衣

（七）蚊取線香（適宜）
（八）移動燈台（軍官以上）（進撃時ハ中隊長以上）
（用外ハ屯昌ニ残ス）

「答語」
「補」

- (イ) 祭設電話三組(本部)
- (ロ) 天幕三十五張
- (ハ) ローソク石千(運用科)
- (ニ) 飯盒各自一組
- (ホ) 中隊無號旗
- (ヘ) 電話線一組(付三〇〇米)
- (カ) 馬穴、食鍋、行軍釜、瀘鍋(器明燃カキ(主計隊))
- (キ) ガル(設営隊)
- (ク) 防毒面(隊員全部)
- (ケ) 各自ニテ携行スルモノ
- (コ) 懐中電燈
- (カ) 武装隊隊規程通
- (ク) 着換下着一
- (カ) 手袋
- (カ) 出立に當日詰當ニ食分、缶詰飯(食分「ビスケット」(食分
- 外ニ一日分豫備糧食ヲ纏メテ各隊ニ渡ス
- (イ) 撒水車、救護車ハ屯昌(大同又ハ南閣)ニテ待機セシム
- (ニ) 今次ハ、戦三件ヲ永久地域ニ於テハ、特ニ其進駐地附近民心ノ把握ニ深ク、遠シ、恣ニヲ確保シ、彼等ヲレテ衷心我々ニ協力セシムルノ

0635

要アルニ付キ、念録ハ爾後各般ノ處理ヲ考慮シ、敵性家屋（ハ）
舎ヲ除ク）ト雖モ、其ノ焼却破壊ハ極力之ヲ避クルヲ要ス

0636

軍極秘

機密Y六伍八特部隊命令第一號

昭和十七年六月七日 於龍塘

佐八特部隊指揮官 齋藤泰藏

陸戰隊命令(第一新與作戰)

敵情(機密Y六伍八特部隊命令第一號別紙第一參照)

新興市坡脚園一帶及積文市附近ニ敵係女囚蟠踞シ
博文市附近ニ定安縣偽政府アリテ約一三〇名ノ游撃隊ヲ

ルモノノ如シ

友軍ノ狀況

舞(特部隊ハ本陸戰隊ト協力敵捕捉殲滅ノ目的ヲ以テ
其ノ主力ハ石浮市ニ一部ト優及雷鳴及居丁ニ既ニ戰
略展開ヲ完了シ石浮部隊ハ坡脚園方面攻畧ノ為南下シ
ト優部隊及雷鳴方面部隊ハ新興市方面作戰ニ協力ス

0637

而シテ雷鳴方面ノ部隊ハ進瀉渡附近ニ在リテ新興方面ヲ敗走、敵ヲ邀撃ノ態勢ニ在リ

三、指揮官ノ決心

七日早朝ヲ期シ主力ヲ以テ積文市博文市方面ノ敵ヲ撃破シ新興市ヲ攻畧シ、後敵ヲ東方ニ圧迫シ、一部兵力ヲ以テ東方対岸ヲ邀撃セシメ、一擧ニ之ヲ包圍殲滅スルト共ニ、一部ヲ坡脚園方面作戦ニ協力セシメントス

0638

四軍隊區分

司										指揮官
力								主		已分隊
長隊中一第				長指大				/		隊名
第中隊				本部中隊				大隊指 小隊		兵
通	醫	通	一	通	醫	通	一	通	一	員數
辯	務	信	系	辯	務	信	系	辯	系	
隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	
一	三	二	三	一	三	二	四	四	二七	加入隊名
/				/				/		力
三七				四七				三一		員數
八五								三三		計
輕 重 重				輕 重				輕		記事
機 機 機				機 機				機		
二 一 一				一 一				二		

0639

令

隊 別			部								
長	曹	兵原	隊長	工作	通信	長 隊 中 三 第					
加徳隊	本部隊	第三中隊				第一中隊				第二中隊	
			工作隊	通信隊	通 辯	醫 務 隊	天 倉 隊	通 辯	醫 務 隊	通信隊	系 隊
			一六	六	一	一	九	一	三	二	三一
		一系隊	/	/	/	/	/	/	/	/	/
一〇	一五	二一	一六	六		二			三七		
	四六						四六				
	留式						輕機	重機	曲射砲		
	二						二	一	一		

0640

尿 翼 左					尿 翼 右									
長尿中五第					長尿中四第									
竹原兵曹 長尿屬 七五 第五中尿					砲尿		第四中尿							
南	鹿	三	田	左	通	腎	腎	通	腎	通	腎	通	腎	通
南	鹿	三	田	左	通	腎	腎	通	腎	通	腎	通	腎	通
四	一	六	六	四	一	三	一	一	九	一	三	二	三	一
											毫	興	四	
											毫	興	四	
											五	二	二	
											九	五		
											留	輕	重	重
											式	機	機	機
											一	一	一	一

0641

總 合 計	隊部機待同大		
	隊三 長計	隊醫 長務	隊運 長輸
	主計隊	醫務隊	運輸隊
	二三	九	五七
五 〇 五		八 九	

0642

五各隊ノ任務

右翼隊ハ。二。龍門進發九四高地(富文市西微北五村)渡
河兵附近ニ進出新興市方面ヨリ敗走ノ敵ヲ激撃スル如ク

0643

- 行動スベシ展開完了時刻ヲ。八。ニ豫定ス
- (六) 別働隊ハ。二。大同進發。七。迄。二。一。六高地(博文市西(五軒)ニ進出積文市方面ノ敗敵ニ備ヘル後主力来着セバ之ニ合同スベシ
- (七) 翼隊ハ。二。大同進發海軍市南板南古嶺ヲ経テ所
在ノ敵ヲ撃破シツツ坡脚園方面ニ進撃スベシ舞(特部隊ト連絡ヲ密ニシ作戦ニ因シテハ舞特部隊指揮官ノ區處ヲ承クベシ
- (八) 大同待機部隊ハ適時大同ニ集結作戦ニ策應スルト共ニ尔後作戦準備ヲ進メオクベシ
- (九) 主力部隊ハ本職之ヲ率キ。二。龍塘進發積文市ノ敵ヲ掃蕩。七。概不長邦坡(龍塘北七五軒)ニ進出尔後所在ノ敵ヲ索メテ北上シ博文市ヲ経テ新興市方面ノ敵ヲ東方ニ壓迫スル如ク攻撃ス

0644

行軍隊形

前衛
三本中

陸戦隊本部

一本中
本隊

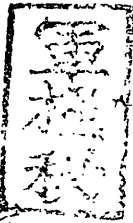
附屬隊

後衛
工作隊

六、各隊ハ通信連絡ヲ密ニシ味方打只ナル様注意スベシ
七、本作戦終了後佐八特部隊ノ集結地莫ヲ大同ニ隊定ス



0645



陸軍省 第六佐八特部隊命令第二號ノ一

昭和十七年六月八日

於大同

佐八特部隊指揮官

齊藤恭藏

陸戦隊命令

敵情

本日舞一特部隊トノ聯合討伐ニ依リ新興市坂御園方面ヲ掃蕩セルモ尚保安園有力部隊附近一帯ニ潜在シタルト確實ナリ

明九日作戰ハ左記ニ依リ實施セントス

作戰項目	參加部隊	使用軒	記事
新興市道路補修及架橋	一中三〇小隊長一 三中一〇設営隊	軒七(内設営隊五)	〇八三〇大同弁
竜塘へ人夫送	一中一〇小隊長一 一中一〇	軒六	〇九三〇大同弁

余ハ概不大同ニ在リテ指揮ス

(終)

0646

軍機秘

機密Y六伍八特部隊命令第二號一三

昭和十七年六月九日

於大同

陸戰隊司令 齊藤恭藏

敵情

機密Y六伍八特部隊命令第二號一三

二月十日作戰ハ左記ニ依リ實施セントス

新與市道路補修及 新興橋架橋	中六〇(含通信隊附屬隊) 中二〇(大月隊) 中二〇(警備隊)	中九(内該警隊五)	記
長積ヨリ材料運搬	中一〇(中一〇) 中一〇(工作隊三)	中五	同
架橋材料準備	工作隊(中五) 中五		支那人五〇

余ハ概テ大同ニ在リテ指揮ス

(終)

0647

軍機秘

機密ノ六被八特部隊命令第三號

昭和十七年六月十一日 於 槻木市

佐八特部隊指揮官 齋藤 棗藏

陸戦隊命令(第二次嶺門攻略)

一、敵情(機密ノ六被八特部隊命令第一號別紙第一參照)

嶺門市西方一帶ニハ相當有力ノ敵保安團及游撃隊蟻
踞策謀ニツツアルハ確實ナルモ其ノ所在不詳ナリ

二、反軍ノ状況

舞一特部隊ハ我ト協力此ノ敵ヲ挾撃スベク其ノ主力ヲ以テ榕木
舗(嶺門北西(四軒)ヲ一部兵力ヲ以テ嶺門西南方ヨリ嶺門

ニ向テ進撃ス

三、指揮官ノ決心

明日。六。〇。槻木市ヲ進發嶺門市攻略、目的ヲ以テハ

四

軍隊区分
嶺門市ニ駐屯ニシム

部兵カラ洪石園ヨリ開進嶺内市東方高地ニ進出セシメ主力ハ嶺門公路ヲ前進シ大嶺頭ニ於テ展開公路上及牛古岡方向ヨリ嶺門市包圍態勢ヲ採リ舞一特部隊ト協力所在ノ敵ヲ一舉ニ捕殺殲滅セントス
尚作戦一段落後第三次南坤市作戦終了時迄一部隊ヲ嶺門市ニ駐屯ニシム

司		指揮官		兵	力
		部隊	分		
主力部隊		大指長	大隊指揮小隊		
	第三中隊長	二ヶ小隊			
	第四中隊長	二ヶ小隊			
	附屬隊				

0649

五各隊ノ任務

令	
別働隊 持機部 隊南進	第一中隊長
/	二五小隊
運輸隊、醫務隊	主計隊、一部及

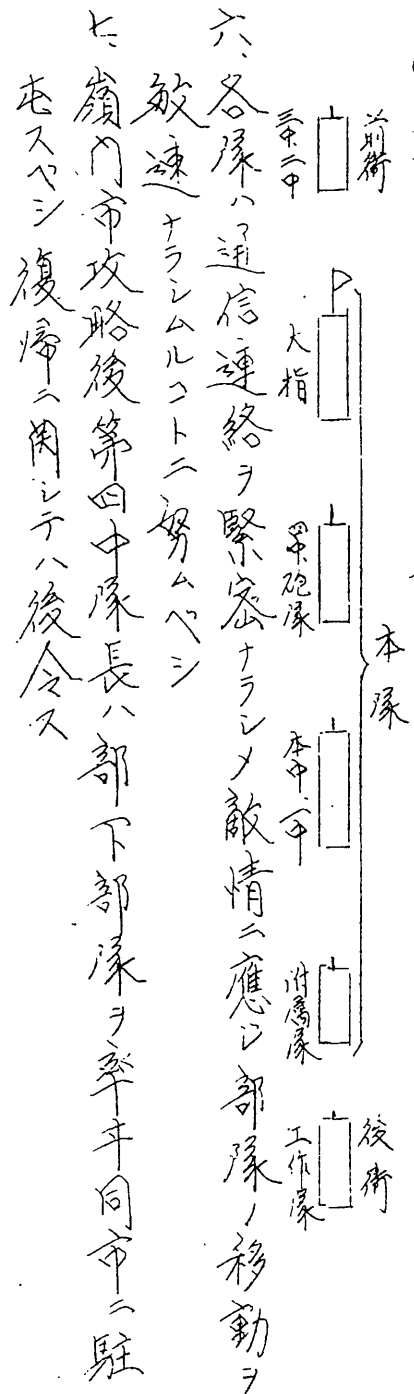
① 別働隊ハ共石園ニ於テ主力部隊ヲ分離充テ兵線道路ニ沿ヒ
南進嶺門市東方高地ニ展開嶺門市攻路準備ヲ整ヘ
命ヲ待ツベシ

② 主力部隊ハ本職之ヲ率キ。六。楓木市進登嶺門公路
ニ沿ヒ前進シ大嶺頭ニ於テ展開其ノ主力ヲ以テ牛古園ヲ
南進シ嶺門市ヲ攻撃ス

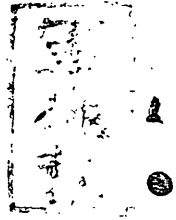
③ 第四中隊長ハ部下部隊ヲ率キ大嶺頭ニテ展開セバ嶺門
公路ニ沿ヒ南下所在ノ敵ヲ撃破シ嶺門攻撃ニ任スベシ

0650

④ 主力部隊ノ行軍体形



0651



機密 第六十八特部隊命令第三號一

昭和十七年六月十二日

於嶺内

陸 戰 隊 令 令
佐八特部隊指揮官 齊藤 恭 藏

一 敵情

本日、舞一特部隊トノ協同作戰ニ依リ嶺内市ヲ攻略シ
附近一帯敵匪ノ掃蕩ヲ終了セシモ敵匪ハ巧ニ四散シ其所
在詳カナラス

二 指揮官ノ決心

尔後作戰準備ノ為第四中隊ヲ現地ニ残置シ主力部隊
ハ本職之ヲ率キ杭木市ニ向ヒ警戒前進シ今夜同市ニ警戒
駐軍ヲ行ヒ明十三日屯昌ニ復版セントス

三 軍隊区分

0652

司										指揮官
隊		本			衛前		部隊		隊	
隊工	隊通	隊長	隊長	隊長	隊長	隊長	隊長	隊長		隊長
長作	長信	第五中隊 (欠下小隊)	加入部隊	第三中隊	第二中隊	大隊指揮小隊	第一中隊	本部中隊	本部中隊	本部中隊
一	六	四	四	一	三	三	三	四	四	四
六	六	五	六	一	七	一	七	七	七	七
一	六	四	六	九	五	三	二	八	五	計
		田射砲一 重機一	留式二	田射砲一 重機一 輕機二	田射砲一 重機一 輕機二	輕機二	重機一 重機一 輕機二	重機一 輕機一	重機一 輕機一	記事(主要兵八卷)

0653

令	隊	計	隊	計	隊
	後衛	小隊	第五中隊	第四	重機
後衛	小隊	第五中隊	第四	重機	輕機
計			三三七		

四 各隊ノ任務

- (一) 前衛 本隊ト前衛ノ距離 概ネ三〇〇米
- (二) 後衛 本隊ト後衛ノ距離 概ネ一五〇米
- (三) 本隊ノ行軍序列
大隊指揮小隊 第三中隊 第五中隊(又ノ小隊) 附屬隊

五 其他

- (一) 帆木市ニ於ケル警戒駐軍ニ関シテハ別令ス
 - (二) 南岡ヨリ自動車警戒行軍トス
 - (三) 支那人夫ハ南岡到着後車輛ニ乗裕アラハ乗車トシテ一部歩行セシムルコトアルシ
- 六 余、警戒行軍中本隊ノ先頭ニ在リ

0654

軍極秘

昭和十七年六月九日

於大同

佐八特部隊指揮官 齊藤恭藏

機密 Y六伍八特部隊命令第三號ニ依ル

嶺門攻畧関係事項覺音

六月十一日一〇〇迄屯昌部隊(殘留隊)ヲ支那入夫四八〇名ヲ

南門ニ送ル(徒歩)

(一) 昼食ヨリ玄計隊ヲ準備ノコト

(二) 入夫警戒隊ハ進撃用軒ニ台ニテ南門ヨリ七日ニ送ル軒ハ屯昌ニ待機

ノコト

六月十一日 楓木市ニ進撃関係事項

一〇八〇〇 大同進發

一〇八三〇 屯昌着屯昌部隊ヲ合同作戰仍行物件以外屯昌殘

一〇三〇 屯昌進發

0655

一三〇〇南間進發(徒歩警戒行軍命令第三號主力部隊行軍隊形ニ第
三中队ヲ後ニニ附シテ行)
一八〇〇迄楓木市ニ到着シ得ル予定

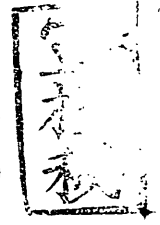
(二) 携行物件

(1) 糧食十日ノ食ヨリ十三日食迄現五二分各隊携行他ニ主
計隊ニ於テ一日分ヲ準備携行ス

(2) 嶺門待機部隊(四中一九五)ハ糧食(週間分豫備彈藥
二日分天幕七張スコップ五〇バケツ水溜帆布(袋)盥
器石灰(三五〇斤))

(終)

0656



機密ノ六伍八特部隊命令第四號

昭和十七年六月十五日

於毛呂

佐八特部隊指揮官 齋藤恭藏

陸戰隊命令(第三次南坤市攻畧)

一 敵情 (機密ノ六伍八特部隊命令第四號別紙第一参照)

南坤市一帯ニ敵保安團自ラ部隊ヲ本據アリテ策

謀シツ、アルコト確安身ナリ

二 友軍ノ情況

南坤市攻畧ニ協力スル舞一特部隊ノ主力ハ作戦當日

〇六〇〇展開ヲ完了シ概ニ同市ノ南西方及北西方ヨリ包

圍攻ヲ行ス

三 指揮官ノ決心

0657

明 日三〇〇老昌状況ヨリ黄嶺進發辛角嶺西方南狗嶺
 近迄自動車警戒行軍ヲ行ヒ尔後徒歩警戒行軍ニ依リ所在
 敵ヲ撃破シツ南坤市ニ向ケテ進ミ粟米坡附近ヨリ三伯嶺
 方面ニ部隊ヲ開進セシメ尔後概テ南坤市東南方ヨリ同
 市ヲ包圍攻撃ス一特部隊ト協力所在ノ敵ヲ一撃ニ捕提
 殲滅セントス

0658

四 軍隊区分

司										指揮官	
本		衛				前					区分
第	長指大	長隊中三第								隊	
本部中隊	揮小隊	大指	第				第				兵
通信隊	一々小隊	通	一々小隊	通	醫務隊	通	醫務隊	通信隊	一々小隊	名	
二	四	四	二七	一	一	一	三	二	三一	員數	
							加德洋隊	本部中隊	三々小隊	加入隊名	
四七		三					一〇	一五	二一	員數	
		三		八六						計	
輕機	重機	輕機					留	輕式機	重機	曲射砲	記事
一	一	二						二	二	一	

0659

隊動別				後衛	隊									
長隊中五第				工 隊長作	主 隊長計	通 隊長信	長隊中一							
第 五 隊							第 一 中 隊							
一 ヶ 川 隊	通 辯	医 務 隊	一 ヶ 川 隊	工 作 隊	主 計 隊	通 信 隊	通 辯	医 務 隊	通 信 隊	一 ヶ 川 隊	通 辯	医 務 隊		
四 一	一	三	四 一	一 六	一 八	一 六	一	三	二	三 一	一	三		
										二 ヶ 中 分				
四 一		四 五								九				
八 七		一 六		二 四						九 四				
軽重曲 機擲機砲								軽重重 機機擲						
二一								二一						

0660

五、各隊任務
 別動隊、粟米坡、於主力部隊、分離、進之、概、不、忘、也。

細	令									
	部隊	待機	毛呂	隊部機待門、嶺						
合	隊醫	隊運	長隊中四第							
	長務	長輸	砲			第四隊				
計	空計隊	醫務隊	運輸隊	通辯	醫務隊	一分隊	通辯	醫務隊	通信隊	一分隊
五	〇	五	七	一	一	九	一	三	二	一
留給重、空、機、隊、										

0661

三伯嶺市田尾泰女所在、敵ヲ撃破シツツ南坤市ニ向テ
進撃スヘシ

(二)主力部隊ハ黄嶺南坤道ヲ西進シ概ネ六〇〇ニハ南坤市
攻撃準備ヲ完了スルヲ是ナリ

行軍隊形



(三)各待機部隊ハ所定ノ地ニ在リテ命令一下直ニ作戦ニ策
應シ得ル姿勢ニ在ルヲ要ス

六 嶺門待機部隊ハ屯昌引揚ケ時機ハ後令ス

(終)

0662

軍極秘

機密Y六佐八特部隊命令第四號附令

昭和十七年六月十三日

於屯昌

佐八特部隊指揮官 齊藤恭藏

陸戰隊命令(第三次南坤市攻畧)附令

陸戰隊命令中左記事項ヲ加除訂正ス

記

一南坤市攻畧作戰準備、為明十四日ヨリ一部隊及該
 營隊ヲ黃嶺市ニ駐屯セシメ、黃嶺南坤道路、補修
 及架橋作業ニ部ヲ安具施セントス

ニ駐屯部隊

指揮官		部員數		計	主要兵器	記事
第五	第一中隊	第五中隊	八七			
第一隊長	八五			一九六	曲射砲一 重機一 輕機一 重機一 輕機一 重機一	支那人天約三〇〇 南坤作戰ニ發 スベキモノ内ヨリ

長	隊	中			
設営隊長	主計隊長	工作隊長	設営隊	主計隊	工作隊
二六四	八	一六	二六四	二六四	(内運転員十三名八屯昌三待機)
			徴發ス		

三、進撃隊八十五日一六。〇迄ニ黄嶺市進出ス

四、設営隊南坤市方面道路視察員一五名ヲ残シ他ハ全員

進撃隊送リ軒便ニテ屯昌ニ復取セシム

五、黄嶺進駐部隊糧食八十四日昼食ハ辦當同日夕食ヨリ

十六日昼食迄現品及「乾パン」一食分トス

其ノ他、進撃隊部隊ハ十五日夕食ハ辦當十六日朝昼現

品及「乾パン」一食分トス他ニ主計隊ニテ總員ノ一日分糧食

ヲ携行スベシ

六十六日。三。〇。黄嶺進發同日夕刻屯昌ニ復取シ得ル見込

(終)

0664

軍極秘

機密ヤ六佐八特命令第四號ノ一

昭和十七年六月十五日 於花昌

佐八特部隊指揮官齋藤恭哉

陸戦隊命令

一、敵情

高通嶺沙波嶺里佳子荔枝嶺一帯ニ敵保安園有
力部隊アリテ我が作戦行動ヲ極力妨害シツアリ

二、指揮官ノ決心

十八日。四。花昌發メ南閭マテ自動車警戒行軍ヲ
行ヒル後徒歩警戒行軍ニ依リ烏坡道路ヲ南進
シ一部隊ヲ一五。高地附近ヨリ分進セシムルト共ニ一方
嶺内隊ヲ東進セシメ敵ヲ營内附近ニ圧縮挾撃スル
ト共ニ嶺内隊ヲ收容セントス

0665

三軍隊区分

第五中队								指揮官	兵	力	記事
主力部								隊名			
通信隊長	山下隊長	第五中隊長	加入部隊長	先任	第三中隊長	第二中隊長	第一中隊長	本部中隊長	大隊指揮隊長	員數	計
四	二〇	四四	四六	一一	三六	三七	三七	四七	二八	四	二一
		曲射砲一、輕機三	重機一、輕機一		曲射砲一、重擲一、輕機二	重擲一、重機一、輕機二	重擲一、重機一、輕機一	輕機二			

0666

四、各隊ノ任務

(一) 別働隊ハ一五。高地附近ヨリ分離荔枝嶺ヲ経テ片
英線道路ニ沿ヒ所在ノ敵ヲ撃破シツツ本隊ト呼應
シ嶺門道路ニ進出嶺門隊ト合同スベシ

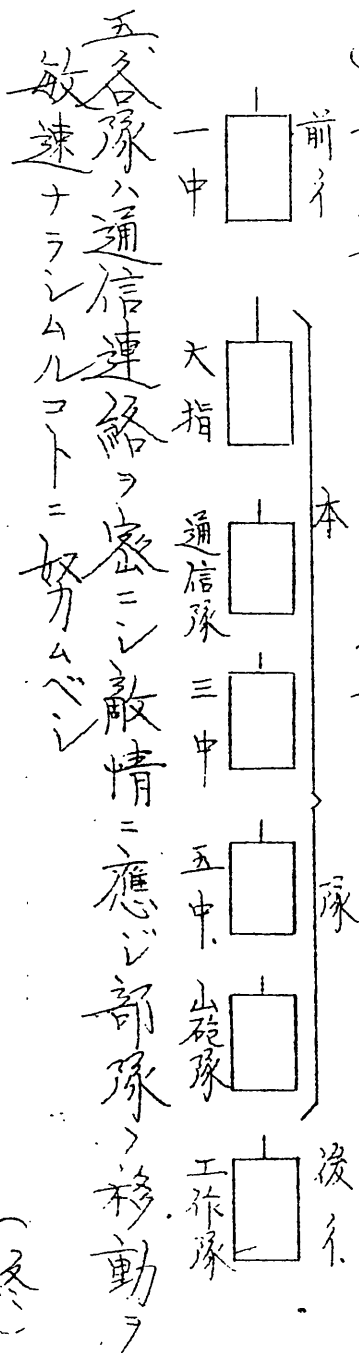
(二) 主力部隊ハ第五中隊長也ヲ率テ四〇。必昌進發
嶺門公路ニ沿ヒ前進一六ニ高地附近ニ於テ展開營
内附近一帯ノ敵ヲ攻撃ス

(三) 嶺門隊ハ第四中隊長也ヲ率テ嶺門公路ヲ東進シ

長			
嶺門隊	別働隊	工隊	
第四中隊長	第五中隊長	工作隊	
加入部隊	第一小隊		
九五	四〇	一四	
九五	四一	一四	
留式一、輕機一	重機一、重擲一	輕機一	

0667

在ノ敵ヲ撃破シツツノ六三。營内西方一軒地莫ニ到
 着スル如ク行動ス後速ニ別働隊ト合同剃頭坡ヲ
 経テ一五。高地ニ於テ本隊ニ合スベシ
 (四)主力部隊ノ行軍隊形



(終)

0668

機密 六佐八特命令第四號之一

昭和十七年六月十五日 於花昌

佐八特部隊指揮官 齋藤恭哉

陸戦隊命令

一、敵情

高通嶺、沙波嶺、里佳子、荔枝嶺、一帯ニハ敵保安團有
力部隊アリテ我が作戦行動ヲ極力妨害シツアリ
二、指揮官ノ決心

十八日。四。花昌發シ南間マテ自動車警戒行軍ヲ
行ヒル後徒歩警戒行軍ニ依リ烏坡道路ヲ南進
シ一部隊ヲ一五。高地附近ヨリ分進セシムルト共ニ一方
嶺内隊ヲ東進セシメ敵ヲ營内附近ニ圧縮挾撃スル
ト共ニ嶺内隊ヲ收容セントス

0669

三軍隊区分

第五中队								指揮官
主力部								
通信隊長	山下隊長	第五中队隊長	加入部隊長	先任第三中队隊長	第一中队隊長	本部中队隊長	通信隊長	大隊指揮隊長
四	二〇	四四	四六	一一	三六	三七	四七	二八
四	二一	四六	九三			八五	二八	計
		曲射砲一、輕機三	重機一、輕機一		曲射砲一、重擲一、輕機二	重擲一、重機一、輕機二	重擲一、輕機一	輕機二
								記事

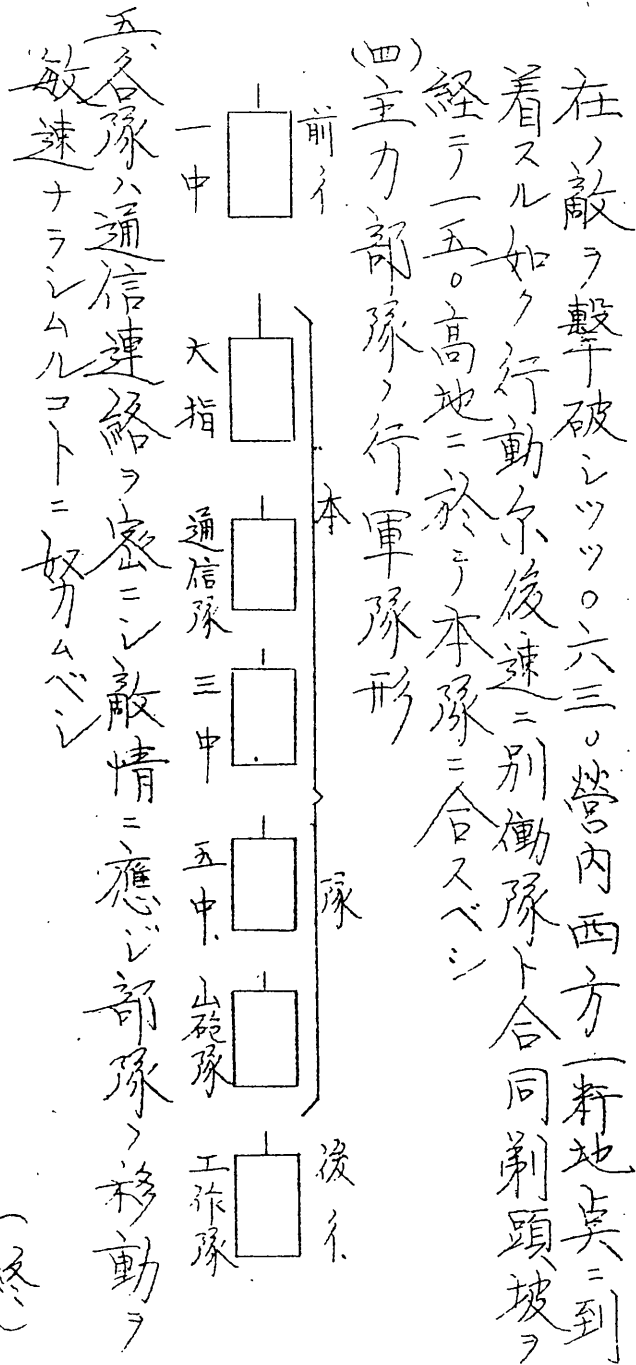
0670

四、各隊ノ任務

- (一) 別働隊ハ一五。高地附近ヨリ今離荔枝嶺ヲ経テ片
英線道路ニ沿ヒ所在ノ敵ヲ撃破シツツ本隊ト呼應
シ嶺門道路ニ進出シ嶺内隊ト合同スベシ
- (二) 主力部隊ハ第五中隊長之ヲ率テ四〇。屯昌進發
嶺内公路ニ沿ヒ前進シ六ニ高地附近ニ於テ展肉營
内附近一帯ノ敵ヲ攻撃ス
- (三) 嶺内隊ハ第四中隊長之ヲ率テ嶺内公路ヲ東進シ

長			
嶺門隊	隊		工
隊長	別働隊	隊	隊長
第四中隊	第一小隊	第五中隊	工作隊
加入部隊			
九五	四〇	一四	
九五	四一	一四	
留式一、輕機一	重擲一、重機一	重機一、重擲一、輕機一	

0671



(終)

0672

軍極秘

機密 昭和三十七年六月十五日

昭和三十七年六月十五日 於 屯昌

佐八特部隊指揮官 齋藤恭哉

陸戦隊命令

一、敵情

高通嶺沙波嶺里佳子荔枝嶺一帯ニハ敵保安團有
力部隊アリテ我ハ作戰行動ヲ極力妨害シツアリ
指揮官ノ決心

十八日。四。屯昌發之南間マテ自動車警戒行軍ヲ
行ヒル後徒歩警戒行軍ニ依リ烏坡道路ヲ南進
シ一部隊ヲ一五。高地附近ヨリ分進セシムルト共ニ一方
嶺内隊ヲ東進セシメ敵ヲ營内附近ニ圧縮挾撃スル
ト共ニ嶺内隊ヲ收容セントス

0673

三軍隊区分

第五中队								指揮官							
主力部							三隊分								
通信隊長	山下隊長	第五隊長	加入隊	先任隊	第三中隊	第二中隊	第一中隊	本部中隊	通信隊長	大隊指揮隊	隊名	員数	計	記事	
四	二〇	四四	四六	一一	三六	三七	四七	二八	二八	二八	二八				二八
四	二一	四六	九三	八五	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八
		曲射砲一、輕機三	重機一、輕機一	曲射砲一、重擲一、輕機二	重擲一、重機一、輕機二	重擲一、輕機一	輕機二								

0674

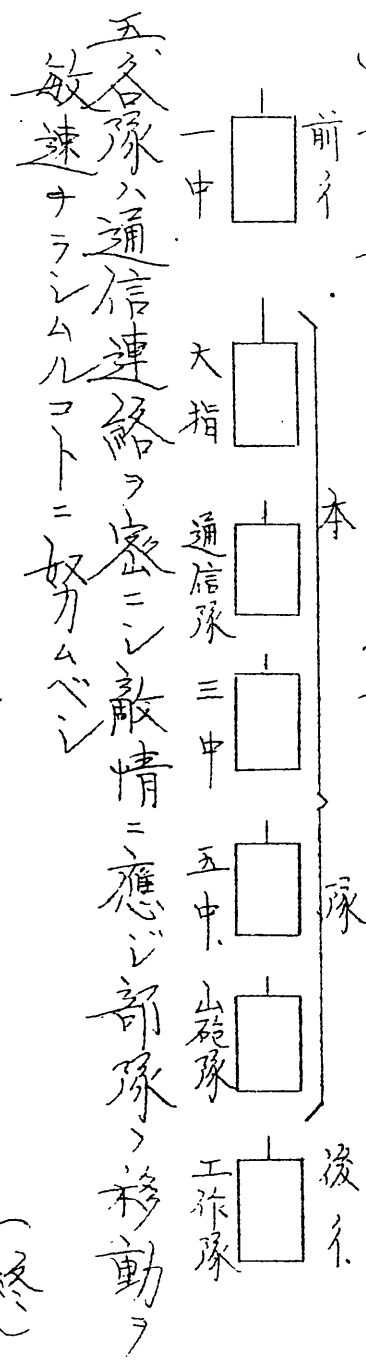
四、各隊、任務

- (一) 別働隊ハ一五。高地附近ヨリ今離荔枝嶺ヲ経テ片
英線道路ニ沿ヒ所在ノ敵ヲ撃破シツツ本隊ト呼應
シ嶺門道路ニ進出嶺内隊ト合同スベシ
- (二) 主力部隊ハ第五中隊長少ヲ率テ四〇〇ニ昌進發
嶺内公路ニ沿ヒ前進一六ニ高地附近ニ於テ展開營
内附近一帯ノ敵ヲ攻撃ス
- (三) 嶺内隊ハ第四中隊長少ヲ率テ嶺内公路ヲ東進所

長			
嶺門隊	隊		工
隊長	別動隊長	隊	作隊長
第四中隊	第五中隊	第一小隊	工作隊
加入部隊			
九五	四〇	一四	
九五	四一	一四	
留式一、輕機一	重機一、重擲一	重機一、重擲一、輕機一	

0675

在ノ敵ヲ撃破シツツ。六三。營内西方一軒地莫ニ到
 着スル如ク行動ス。後速ニ別働隊ト合同。荆頭坡ヲ
 経テ一五。高地ニ於テ本隊ニ合スベシ
 (四)主力部隊ノ行軍隊形



五、各隊ハ通信連絡ヲ密ニシ敵情ニ應ジ部隊ノ移動ヲ
 敏速ナラシムルコトニ努ムベシ
 (終)

軍極秘

機密ヤ六佐八特命令第四號ノ一

昭和十七年六月十五日 於 屯昌

佐八特部隊指揮官 齋藤恭藏

陸戦隊命令

一、敵情

高通嶺沙波嶺里佳子荔枝嶺一帯ニハ敵保安園有
力部隊アリテ我が作戦行動ヲ極力妨害シツアリ

二、指揮官ノ決心

十八日。四。屯昌發南間マテ自動車警戒行軍ヲ
行ヒル後徒歩警戒行軍ニ依リ烏坡道路ヲ南進
シ一部隊ヲ一五。高地附近ヨリ分進セシムルト共ニ一方
嶺門隊ヲ東進セシメ敵ヲ營内附近ニ圧縮挾撃スル
ト共ニ嶺門隊ヲ收容セントス

0677

三軍隊区分

第五中队								指揮官
主力部							隊名	
通信隊長	山下長	第五隊長	加入部隊長	先任	第三中隊長	第一中隊長	本部中隊長	大隊指揮隊長
四	二〇	四四	四六	一一	三六	三七	四七	二八
四	二一	四六	九三			八五	二八	計
		曲射砲一、輕機三	重機一、輕機一		曲射砲一、重擲一、輕機二	重擲一、重機一、輕機二	重擲一、輕機一	輕機二
								記事

0678

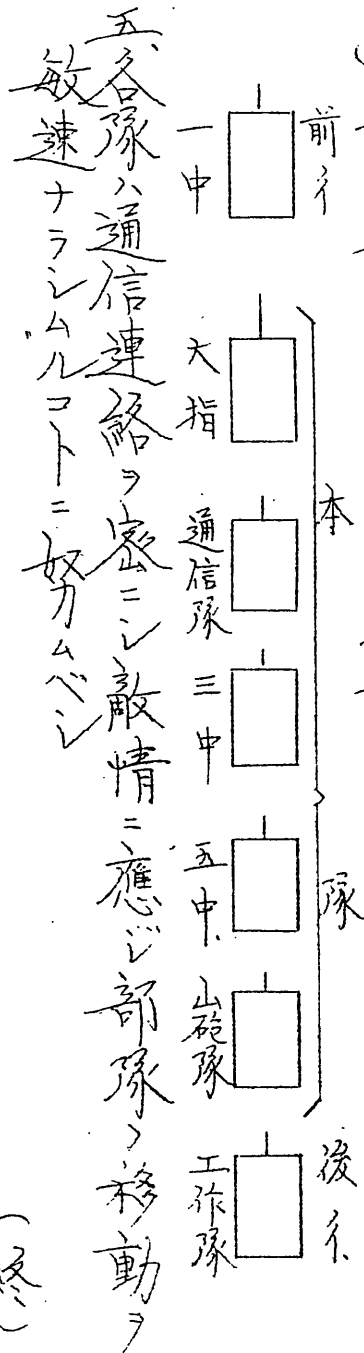
長				
嶺門	嶺	別働隊		工隊
隊	第四	長	藤	長
加入部	第四中隊	一ヶ小隊	第五中隊	工作隊
	九五	四〇	一四	
	九五	四一	一四	
	留式一、重機一、輕機一	重機一、重擲一、輕機一		

四、各隊の任務

- (一) 別働隊ハ一五。高地附近ヨリ分離荔枝嶺ヲ経テ片
英線道路ニ沿ヒ所在ノ敵ヲ撃破シツツ本隊ト呼應
シ嶺門道路ニ進出嶺門隊ト合同スベシ
- (二) 主力部隊ハ第五中隊長史ヲ率テ四。必昌進發
嶺門公路ニ沿ヒ前進一六ニ高地附近ニ於テ展開營
内附近一帯ノ敵ヲ攻撃ス
- (三) 嶺門隊ハ第四中隊長史ヲ率テ嶺門公路ヲ東進シ

0679

在ノ敵ヲ撃破シツツ。六三。營内西方一耕地。莫ニ到
 着スル如ク行動ス。後速ニ別働隊ト合同。荆頭坡ヲ
 経テ一五。高地ニ於テ本隊ニ合スベシ
 (四) 主力部隊ノ行軍隊形



0680



機密 第六十八特部隊命令第五號

昭和十七年六月十八日

於武昌

佐八特部隊指揮官

齊藤泰藏

陸戦隊命令 (第四次武昌市攻略)

(一) 敵情 (機密 第六十八特部隊命令第五號別紙第一参照)

武昌市一帯にハ敵保安第七團、約四〇〇名あり、多クハ山嶺、深波嶺、克嶺、大嶺等ニ見張り出し警戒ヲ嚴ニシツナリ

(二) 友軍、情況

武昌市攻略ニ協力スル第一特部隊、約五ヶ小隊ハ坡尾市方面ヨリ南下、南坤市方面ニ駐軍中、約五ヶ小隊ハ同方面ヨリ北上シ攻撃當日〇八〇。迄ニ一部ハ同市ニ西方ニ迂迴展開攻撃準備完了、豫定ナリ

0681

三 指揮官ノ決心

明十九日西昌進發主力ハ西昌、西昌片矣線道ヲ
 北上第一支隊ヲ大同ヨリ進發セシメ海軍市新村ヲ終
 所任、敵ヲ撃破シツ、西昌進發第二支隊ヲ多六嶺深
 坡嶺間矣線道ヲ西昌ニ向ケ進發セシメ、八〇〇展開
 攻勢準備ヲ完了シ奔ハ特部隊ト協力敵ヲ包圍殲
 滅セントス

四 軍隊區介

司		指揮官	兵	力
		部隊		
本	前衛	第四中隊	第四中隊及砲隊ニ分隊	
大指長	大指長	大指長	大指長	大指長

0682

令				
隊	後衛	第一支隊	第二支隊	第三支隊
第三中隊長	工役隊長	第五中隊長	第一中隊長	第二中隊長
第三中隊及二中一ヶ分隊	工役隊	第五中隊	本部中隊系隊第一中隊一ヶ分隊	第二中隊
附屬隊			運輸隊ノ一部	
			醫務隊	

五、各隊ノ任務

第一支隊ハ〇四〇〇大同進發海軍市・新村ヲ経テ所在ノ敵ヲ撃テ破シツ、西昌市ニ進撃スベシ但シ坡尾市方面ヨリ南下スル舞ノ特部隊ト連絡ヲ保ツベシ

第二支隊ハ〇三〇〇毛昌進發多六山嶺、深坡嶺中間莫線道路ニ沿ヒ西進シ加利園龍江坡大坡山方面ノ敵ヲ撃テ破シツ、

西昌市ニ向ケ進駁ナスベシ
 (三) 主力部隊ハ本職之ヲ率テ西昌、西昌間片矣線道ヲ北
 上シ西昌市ニ向ヒ進駁ナス
 (四) 各隊共〇八〇迄ニ西昌市ヲ攻駁シ得ル如ク展開ヲ完
 ナスベシ

被
 撃

0684